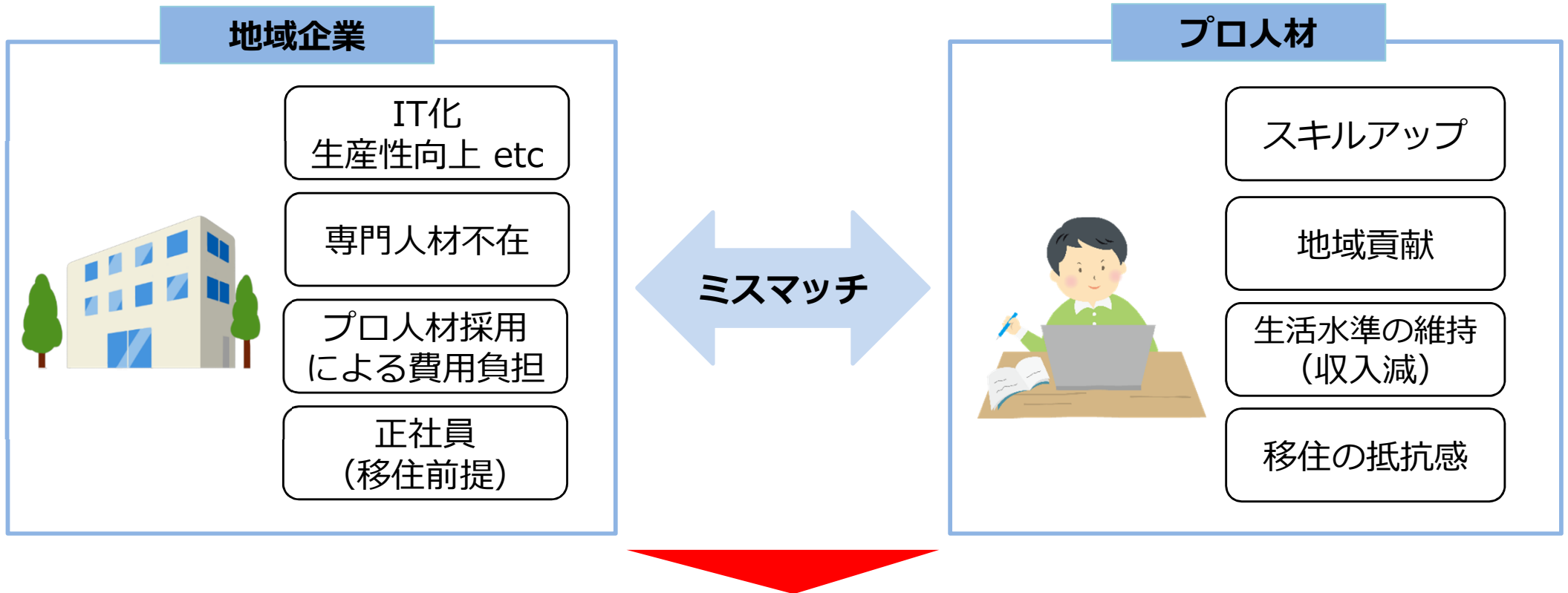


副業・兼業による都市圏プロ人材の活用に向けた取組

令和3年4月
北陸財務局

企業と都市圏プロ人材とのミスマッチの解消

企業とプロ人材とのミスマッチの解消が重要



副業・兼業によるプロ人材の活用

- ✓ 外部人材の受入れになじみのない企業は、少額・短期間の試験的な活用が可能
- ✓ リモートの活用により、常用雇用では確保できない高いスキルを持ったプロ人材の活用が可能
- ✓ 北陸地域を知ってもらうこと（関係人口）により、その後の常用雇用（定住）につながる可能性

北陸地域における副業・兼業によるプロ人材の活用の現状①

北陸地域における「副業・兼業」による都市圏プロ人材の活用に向けた取組について、企業とプロ人材のマッチングに取り組む仲介者（つなぎ手）等に対して、ヒアリングを実施

ヒアリング実施先

- ・ プロフェッショナル人材事業戦略拠点
- ・ 県
- ・ 金融機関
- ・ 中間支援組織
- ・ 人材紹介会社（副業・兼業専門）

ヒアリングの目的

- ・ 副業・兼業プロ人材を活用できる地域企業の裾野拡大を目的に、以下を確認
 - ✓ 副業・兼業プロ人材仲介に係る取組状況
 - ✓ つなぎ手・関係機関の連携状況
 - ✓ 連携の中で不足している機能・連携先
 - ✓ 活用を広げるために必要な取組

北陸地域における副業・兼業によるプロ人材の活用の現状②

北陸地域の現状

副業・兼業に適した経営課題

これらのニーズに対し、副業プロ人材が行う作業はリモートを活用して行われている

既存事業	売上増加 (販路拡大)	EC強化	SNS集客	Web広告	大都市向け営業	ほか
	費用減少 (生産性向上)	製造プロセスIT化	在庫管理IT化	ペーパーレス化	RPA導入	ほか
	人事	評価制度改善	就業規則改善	人材育成改善	採用手法改善	ほか
新規事業 (新製品開発)		市場調査	マーケティング	製品レビュー	プロジェクト管理	ほか

【出所】JOINS(株)セミナー資料を参考に当局作成

成約事例

募集企業について

①企業情報 (石川県)

事業内容：道路運送業 売上規模：5億円以上
社員数：47名

②募集背景

倉庫内の入庫、保管、出庫管理業務をアナログ（目視、紙）で行っているため、ミスが起りやすく非効率な状態

③募集業務内容

デジタル技術を活用し、倉庫内の管理業務を省力化・効率化したい

契約人材について (応募数15名、契約数3名)

①人材概要：40代 / 男性 / 東京都在住 ほか2名

②契約期間：2021年2月～契約継続中

③人材の本業：大手自動車メーカー、大手人材サービス会社、IT企業

④実行内容

A氏：AIセンサーを用いた物の判別、管理の仕組み構築

B氏：ドローンやQRコードを使った在庫管理方法等の企画

C氏：顧客の位置情報と特性情報を蓄積・共有するアプリ開発

⑤業務手法：週1回のミーティング（Zoom）、チャットでの打合せ

⑥成果

- ・開発アプリは完成済み。4月から各ドライバーの社用スマホにインストールし運用開始。ドライバーが顧客情報を共有し効率化を図る
- ・倉庫内管理業務のIT化は進行中

北陸地域における副業・兼業によるプロ人材の活用の現状③

つなぎ手・関係機関の連携状況

- ・プロ拠点と金融機関や商工団体が連携した取組
- ・金融機関とマスメディアが連携した取組
- ・地方公共団体、商工団体と金融機関が連携した取組



北陸地域の課題

企業の課題

- ・副業・兼業について「知らない・関心がない」
- ・副業・兼業プロ人材の活用により業務改善できるといった発想に至らない

つなぎ手・関係機関の課題

- ・プロ拠点や金融機関単独のセミナーでは効果が限定的
- ・金融機関の一部においては、経営課題の解決策として外部人材の活用が浸透しておらず、取引先企業に対して提案・ニーズの掘り起しができていない
- ・補助事業に先進的に取り組む地方公共団体がある一方、興味はあっても情報等が不足しており、取り組めていない地方公共団体が大半

北陸地域における副業・兼業によるプロ人材の活用の現状④

聞かれた声・要望

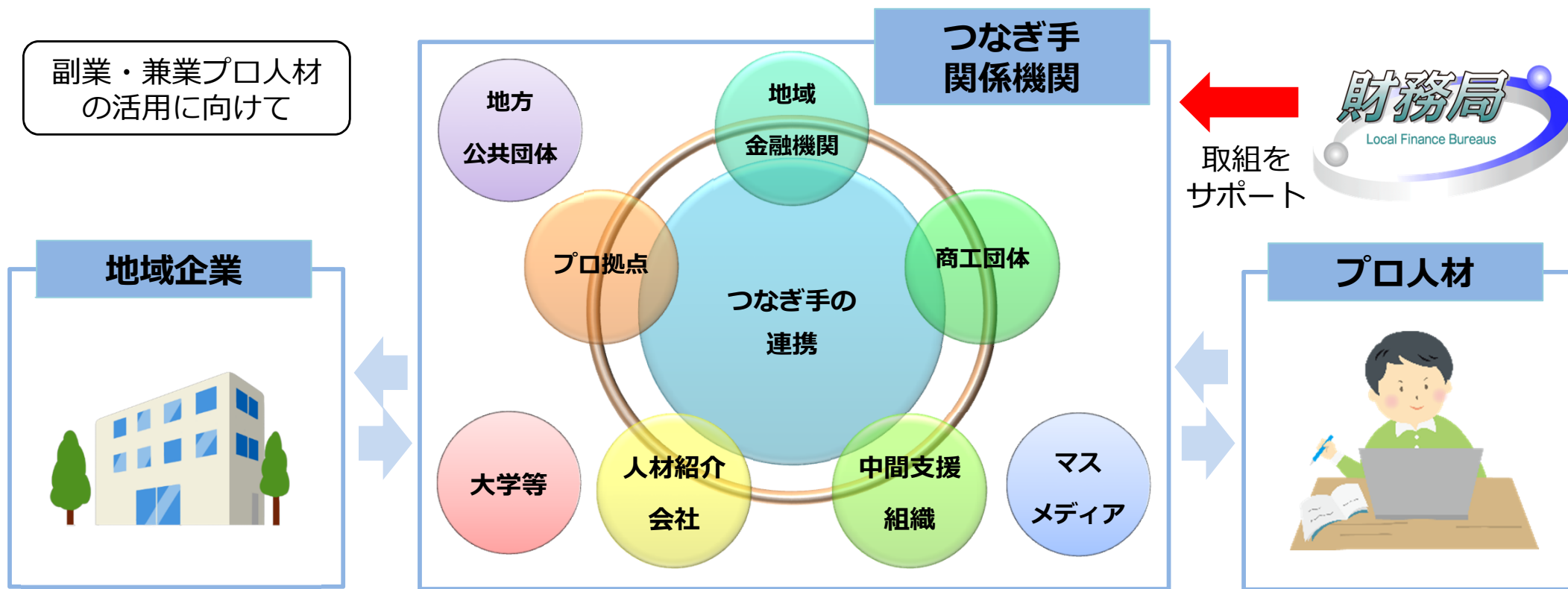
機運の醸成

- ・ 様々な主体がセミナーを開催することで、企業に副業・兼業が大きく活用されていることを理解してもらう必要がある
- ・ 企業向けセミナーを開催するに当たり、公的な機関と連携して企業に安心感を付与することが重要

つなぎ手等の機能強化と連携

- ・ 人材紹介に係るスキル・ノウハウを有していない金融機関を対象としたセミナー・勉強会があれば参加したい
- ・ 通常、人材ニーズの掘り起しはメインバンクしかできず、メインバンクが人材紹介業務を行っていない場合、人材ニーズを取りこぼしてしまうおそれがあることから、金融機関の育成に加え、関係機関の連携が重要
- ・ 地方公共団体、金融機関等の関係機関が副業・兼業によるプロ人材の活用に係る知識・成功事例・ノウハウ等を共有して、同じベクトルで取り組まなければ、地域に浸透しない
- ・ 企業への浸透にはつなぎ手のサポートが必要

北陸地域連携プラットフォームからの提言（案）



- 金融機関と公的機関（地方公共団体等）との企業向けセミナー共催などの連携推進
- 金融機関の業界団体と連携した取組（金融機関の機能強化に向けた勉強会の開催）
- 「つなぎ手」同士の連携、「つなぎ手」と関係機関の連携など、地域の特性に応じた連携に係る好事例を横展開することにより、北陸地域における連携の広がりを後押し

これらの取組を財務局としてサポート